

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還） 14

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789</a>

山  
野  
・  
ラ  
ン  
パ  
ー  
ト  
  
44  
12  
18

Handwritten signature and notes at the top left of the page.

法規課長  
条約課長

アメリカ局長  
参事  
北米第一課長

極秘

右  
左  
大

山野特選局長 ランボート高等弁務官令  
C12月18日 於高等弁務官府  
44.12.12 米北-(佐藤)

出席者 山野局長 岸田内政事務官 北米-保佐法  
ランボート高等弁務官 マーレス 殿内  
マースト-ニ海外官

山野局長より、令(の私案)の旨前置きして、  
「佐藤・ニクソン会談後の沖縄施政について」と題し

ハ-ハ- (別添1.2) と手交の上、  
のラインに於て、説明と加えりて、非公式な意見交換

を行つた」と提案 (先方了解) のラインに意見交換  
交換した。(所要時間14時向半) 右要旨次の通り。  
(別添ハ-ハ-と原簿の印合の記録は略す。)

1. 今後の情報  
山野局長より、現在、本工の総選挙中のこと  
もあり、沖縄関係の情報も若干青字を以てするが、

RYUKYU TOKYU HOTEL 琉球東急ホテル

NAHA, OKINAWA  
PHONE: NAHA (代) (8) 2151  
P. O. BOX NAHA 146

那覇市天久1002  
電話那覇(代)(8)2151  
私書函那覇146号

選挙の送り、新内閣の組織は小十時、復帰準備の  
問題も具体化し、情報も急速に動くようになり  
仲絶。

この見直しと並んで、その前提の下で、秩序だった復帰準備  
を行おうとする。日米両政府間の緊密な協力が必要

の旨強調し、とくに、  
の中心に於て、復帰論議と自らの要請を

備の予備に、向ける努力が必要である旨述べた。  
(ランボート高等弁務官より) とくに意見を述べた。

~~米北-保佐法~~

2. 戦後援助

山野局長より、今後の米国内閣の沖縄援助の見直し

を簡して、ランボート高等弁務官より、先般、ワシントン  
上下両院の聴聞会出席の折、施政権返還時期について、

米国内閣の援助と結び、その必要性を強調し、とくに、今後の

RYUKYU TOKYU HOTEL



琉球東急ホテル

NAHA, OKINAWA  
PHONE: NAHA (代) (8) 2151  
P. O. BOX NAHA 146

那覇市天久1002  
電話那覇(代)(8)2151  
私書函那覇146号

過渡期: 米側援助と差返に減少せしめるとは、沖縄  
住民に種々の悪影響を及ぼす旨述べられたこと。(1)現在

この問題は、米側との真意に満ちておらず、今後1週以内の  
10日以内には、何等かの結論を出すことと期待せられたこと。  
本

述べられた。

その中に、山野局長より、先般、ワシントンにて、米陸軍

次官補代理から、現在の米側との交渉の態度が、

1971会計年度の米側援助の削減が、相当深刻なものであること、  
(そのうち)

現在の  
半分の位に削減する可能性もある旨、米側から述べられたこと、  
明年早々に決定される日本政府の70年度予算案

の規模を決定するためにも、米側の71年度予算の削減し  
て知られたこと、また、出来れば、施設投資も削減する

米側の

現在の米側との交渉の状況を述べられたこと、日本政府の  
希望を述べられたこと、その中に、米側から、米側は、

RYUKYU TOKYU HOTEL



琉球東急ホテル

NAHA, OKINAWA  
PHONE: NAHA (代) (8) 2151  
P. O. BOX NAHA 146

那覇市天久1002  
電話那覇(代)(8)2151  
私書函那覇146号

4

71年度予算の削減については、自分も、米側と全く同意  
である。この点については、educated guess であること、

述べられた。1月の中旬には、大分県の米側との交渉に、71年度  
予算の要求が明らかになったこと、沖縄援助、政府要求  
の年表の

事の詳細も、この時より判明したと述べられた。

### 3. 面接関係

山野局長より、復帰準備施策の一環として、復帰に

至る前に、~~現在の~~現在の(何年かの方向?)  
雇傭制度の改善が、行われること、米側  
の事情は、米側から説明し、面接雇傭制度の

導入については、今後、米側と話し合うことと述べられた。  
その中に、米側から、米側は、自分と

米側(米側)との話し合いは、  
米側は、この問題を真意に考慮する(especially  
willing to consider this problem) であること、





5. 国政参加

山野局長より、国政参加に217. 来年の国会では

法案の通り、遅くとも来年7月には選挙が行われる見通し  
に対し、自派の主張として、先ず井崎官より、自分の問題について

参考資料に示した通り、国政参加に伴う憲法上の問題  
の解決のためと向うたので、山野局長より、二つある。

国会の問題であり、自分としては、それ以上、何とも云えない  
。佐藤総理の所信表明演説にも示した通り、この問

題の真意は、国会の決意を待つべきである。この  
の解決は、自派の主張として、

それ以上、国会の決意を待つべきである。この  
の解決は、自派の主張として、

別途、特別選挙を行うことは、あるかと向うたので、山野局長  
より、今後の手続としては、日本国憲法の出来、5. 中絶

2. 中絶に対する憲法上の問題、その法律に基いて中絶  
の選挙権とは、その中、日本国憲法の本質と時期

の違ふ特別選挙を行うと答えた。

6. 選挙問題等への取組

山野局長より、選挙問題等への取組は、言及した通り、

先ず井崎官は、米国の選挙権、日本の大蔵省と6. この問題  
は、自分達(財務省)の方で取り扱って、23. 選挙権

1130. 同時に、自分(先)も問題の重要性は十分認識  
して、3つあり、そのうち、それ以上、議論は行わなかった  
(先ずも、問題の本質は、1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.)

7. 復帰準備の進め方

山野局長より、今後、復帰準備を進めたい。行くと、  
(何国) (和国と22.)

日本国憲法。責任の重作とあり、5. 22. 協定毎国会  
は、政策の調整、特に、準備毎国会では、復帰準備



NAHA, OKINAWA  
PHONE: NAHA (代) (8) 2151  
P. O. BOX NAHA 146

那覇市天久1002  
電話那覇(代)(8)2151  
私書函那覇146号

施策のガイドラインをこの行(=)に示すと思ふ旨述べた  
上、復帰準備に伴い、予想と異なる大量の作業

を、T-2、245の同米協定を細く天に立入る協定  
して行くとすると、ととも、復帰までに、作業を終了してその  
の時点

2. 協定委員会準備委員会作業は、大綱と押さえる  
ことと、詳細な事は、中絶事務局と琉球政府、共に

必要に示して、~~琉球~~政府と、上記委員会(=)の業務  
分担の大綱に従って、直接、作業を進めること(=)と(=)と(=)と

の必要と考へておる旨述べた。

その中、(1) 琉球事務局より、自分としては、準備委員会の  
予想と異なる困難かつ行ふ作業と

一層として、限られた時間内に有効に解決あるとの目標の  
下、任職(=)共同声明の趣旨の実現に全力をこらす

決意である旨述べた。その際、岸次長官にもお伝え願ったこと  
述べた。琉球事務局は、さらに、米側としては、今後の日米協



NAHA, OKINAWA  
PHONE: NAHA (代) (8) 2151  
P. O. BOX NAHA 146

那覇市天久1002  
電話那覇(代)(8)2151  
私書函那覇146号

との交渉に備えての準備作業を行っており、昨日、1月5日  
(16、17日)の両日、スティーブ公使、カーティス中持の来沖に、

色々相談して行った。来沖1月中旬には、米側との関係  
を一堂に集めて、planning discussion と行なう予定で

あり旨述べた。

8. 軍自保労務者解雇問題。

「琉球事務局より、(1) 今回の解雇計画は、~~琉球~~政府

の基本方針として、1970年頃の米国防経費と前大規模  
の削減より、削減少額への移行に政府が立ち初め、公約に  
関係

もたつてあり、問題は沖縄だけである。全世界の  
労働者も、琉球、沖縄にあり、解雇者には米国人も

含めると、(2) 在沖米軍当局、ワシントン、去年(1970)に  
、本計画と発表されたとの強い圧力を受けた。



RYUKYU TOKYU HOTEL 琉球東急ホテル

NAHA, OKINAWA  
PHONE: NAHA (代) (8) 2151  
P. O. BOX NAHA 146

那覇市天久1002  
電話那覇(代)(8)2151  
私書函那覇146号

自分(2)に

6月5日のストと関係して、労働争議の、やと一段落して、  
8月に、この問題と発表すること、沖縄 米軍 基地 関係 労働争議 と 再 燃 せ る お そ ろ で も な り ま す 。

各報不満を誘発し、11月の米軍基地と米軍との交渉に  
おこしたる措置と沖縄基地に警戒があると判断して、

ワシントンに、本件発表を米軍基地延期有  
るとして、ワシントンに、reluctantly、

このことに関して(米軍基地)の、(一)上記経緯に  
鑑み、自分として、本件を12月に発表せしめよう

また、二十と二十以上、延期することもあること、(二)  
離職者対策について、もう少し事前には打つておく  
本件計画自体は、外 部 に 教 え ら れ て い ま す 。

へ、ワシントンに、上記(四)の事情は、前 述 の 如 き に な り ま す 。  
前も、この問題を、openに、行なうこと、

おこした、と説明し、今後、日本政府、琉球政府、  
と、米 軍 と の 協 力 に 離 職 者 対 策 に 全 力 を こ め ら せ ま す 。

RYUKYU TOKYU HOTEL 琉球東急ホテル

NAHA, OKINAWA  
PHONE: NAHA (代) (8) 2151  
P. O. BOX NAHA 146

那覇市天久1002  
電話那覇(代)(8)2151  
私書函那覇146号

つ、ワ シ ン ト に お し て い ま す 。

その、山 野 局 長 と、元 弁 務 長 の 既 慮 に 謝 ら し ま す 。

自分(山野)は、昨 日 17 日 迄 米 軍 と の 折 衝 の 結 果 を 理 解 し 、 日 本 政 府 に 対 し て は 、 各 種 謝 意 を 表 し ま す 。

年々、今 年 の 特 別 給 付 金 (1 人 当 り 60,000 円 ) を 支 給 す こと に 合 意 を 表 し ま す 。 (元弁務長)

右、右 の 決 定 と 相 違 い の 多 く に 因 り 、 喜 色 と う の 事 に な り ま す 。  
その、日 本 政 府 と (2. 特別給付金) 総額

今後、早 急 に 日 本 政 府 と の 協 力 に 事 務 を 進 め ま す 。  
年々、早 急 に 日 本 政 府 と の 協 力 に 事 務 を 進 め ま す 。

それ、ワ シ ン ト に お し て い ま す 。 また 、 山 野 局 長 は 、 こ の 解 雇 問 題 と う の 必 要 に 対 し て は 、 持 来 の 米 軍 基 地 の 運 営 に 好 ま し て い ま す 。

おこしたる影響と、早 急 に 日 本 政 府 と の 協 力 に 事 務 を 進 め ま す 。  
日 本 政 府 と の 協 力 に 事 務 を 進 め ま す 。



RYUKYU TOKYU HOTEL



琉球東急ホテル

NAHA, OKINAWA  
PHONE: NAHA (代) (8) 2151  
P. O. BOX NAHA 146

那覇市天久1002  
電話那覇(代)(8)2151  
私書函那覇146号

13.

と申し計し「元弁務官」より、本國政府に計し、10月14日の  
父事と取替~~報~~報を提出するための許可を求め、存在の事  
(こと(た))

3日にも、新聞に、令軍務心、本件をとりえ、2、2ライキ  
に計画との報道がある。このライキは、何等建設的

な事、自分と12日、何か、中止させた。と考へて、旨  
志へ、日本政府と、とCに、~~相済政府~~その

usual skilful way? 此に協力して、旨と、旨  
T。と申し計し、山崎局長より、日本政府と12日、

直接、内接の協力を1Tと述べ、旨

最後に、山崎局長より、相済政府、日章種機場

1-1月14日、布令144号、2.2.20、座止の措置~~旨~~謝し。  
会案を済之T。